



Chu-Shi ACTIVITY REPORT

中四がんプロ活動レポート

Vol.58
Mar. 2021

愛媛大学
Ehime University

臨床腫瘍学教育課程がん専門医養成コース
●医学部学務課大学院チーム
TEL:089-960-5868

岡山大学
Okayama University

がん専門医養成コース
●医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ大学院担当
TEL:086-235-7986
がん専門職(がん専門・指導薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師)養成コース
●医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当
TEL:086-251-7923
高度実践看護師(がん看護専門看護師)コース・医学物理コース
●医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ保健学研究科担当
TEL:086-235-7984

香川大学
Kagawa University

がんプロフェッショナル養成コース
●医学部学務課大学院入学試験係
TEL:087-891-2075

川崎医科大学
Kawasaki Medical School

がん専門医療人養成コース
●事務部教務課
TEL:086-464-1012

高知県立大学
University of Kochi

APNコース
●教務支援部教育研究戦略課
TEL:088-847-8815

高知大学
Kochi University

がん専門医養成コース
がん専門薬剤師コース
●医学部・病院事務部学生課大学院係
TEL:088-880-2799

徳島大学
Tokushima University

がん薬物療法専門医養成コース・臨床腫瘍放射線医学コース
臨床腫瘍外科コース・
臨床腫瘍栄養学コース(博士前期課程・博士後期課程)
●蔵本事務部学務課第一教務係
TEL:088-633-9649
臨床腫瘍薬剤師コース
●蔵本事務部薬学部事務室学務係
TEL:088-633-7247
高度実践がん看護学コース・医学物理学コース
●蔵本事務部学務課第二教務係
TEL:088-633-9009

徳島文理大学
Tokushima Bunri University

臨床腫瘍薬剤師コース
●香川キャンパス教育・研究支援グループ
(がんプロ担当)
TEL:087-899-7100

広島大学
Hiroshima University

がん専門医養成コース
がん専門薬剤師養成コース
がん看護高度実践看護師養成コース
医学物理士養成コース
●農地区運営支援部学生支援グループ
TEL:082-257-1538

松山大学
Matsuyama University

がん専門薬剤師養成コース
●薬学部事務室
TEL:089-926-7193

山口大学
Yamaguchi University

外科系腫瘍専門医コース
内科系腫瘍専門医コース
放射線腫瘍専門医コース
がん看護専門看護師養成コース
●医学部学務課大学院教務係がんプロ事務室
TEL:0836-22-2055

<http://www.chushiganpro.ccsv.okayama-u.ac.jp/>

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム Vol.58

□ 編集兼発行者
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム事務局
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL:086-235-7812/FAX:086-235-7045
ganpro@adm.okayama-u.ac.jp

□ 印刷所
有限会社 ファーストプラン

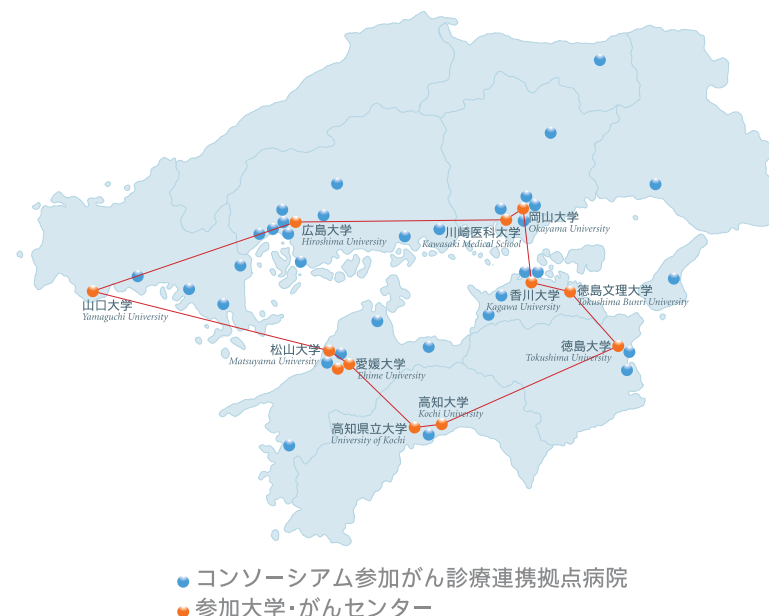
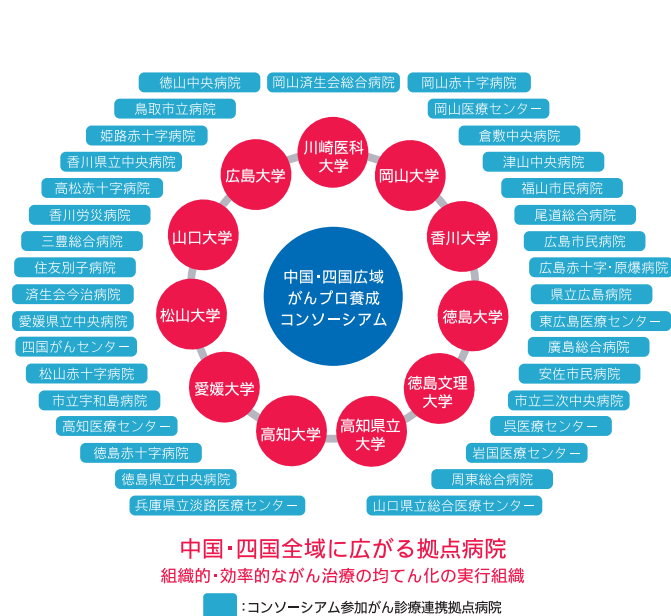


Mid-West Japan
Cancer Professional Education Consortium
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム



中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

中国・四国地域に位置する11大学がコンソーシアムを形成し、各大学院に多職種のがん専門医療人養成のためのコースワークを整備し、これに地域の35のがん診療連携拠点病院が連携することにより、広い地域にムラなくがん専門医療人を送り出すことを目的としています。



ごあいさつ

平成29年6月に、中国・四国地域の11大学が連携する「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」プロジェクトが文部科学省の「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン」に採択されました。

本事業は、がん医療を取り巻く状況変化に伴い生まれる多様な新ニーズにも対応するがん専門医療人の人材育成を目的としております。がん患者数の増加、治療の進歩に伴い高齢者医療、ゲノム医療、希少がん、小児／AYA世代がんへの対応は新たな重要課題となっており、中国・四国地方においても高いレベルでそれらを理解し、適切な医療を提供できる医療人の養成が必要とされています。さらに、がん患者の求める全人的医療を実践するためには、各々が高度な技術と知識を持った上で、チームとして連携し、がん診療を提供する多職種連携教育が重要となります。

本事業では中国・四国の11大学が参画するコンソーシアムを組織し、上記課題に対応できる卓越したがん専門医療人の人材育成にあたります。

当コンソーシアム事務局では、講演会、国内外の施設への研修など、コンソーシアムの活動情報を広く発信することを目的とした中四がんプロ活動レポートの発行を行っています。

本誌をきっかけに、大学院入学や各種セミナーへの参加等をご検討いただければ幸いです。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム
事務局

令和2年度 外部評価委員会

令和3年1月22日、オンライン会議システムを利用して外部評価委員会を開催し、新規の4つのWG、および第2期事業から継続している多様な14のWGの担当者から、今年度の成果発表と特色ある取り組み、来年度の目標についての報告を行いました。

日 時: 令和3年1月22日(金) 14:00~17:00

場 所: 遠隔会議システム『Zoom』上でのオンライン開催

プログラム

I. 開会の挨拶(5分) 14:00-14:05

「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」代表

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学 教授 藤原 俊義

II. 「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」の概要(10分) 14:05-14:15

コンソーシアム事務局長

岡山大学病院 低侵襲治療センター 准教授 香川 俊輔

III. 新規WGの現状と成果(発表+質疑応答で1WG 10分:計40分) 14:15-14:55

① ゲノム医療WG(岡山大学)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床遺伝子医療学分野 教授 平沢 晃

② 希少がんWG(愛媛大学)

愛媛大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学講座 教授 薬師神 芳洋

③ 小児がん・AYA世代がんWG(岡山大学)

岡山大学病院 小児血液・腫瘍科 准教授 嶋田 明

④ 高齢者がんWG(香川大学)

香川大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学 教授 辻 晃仁

IV. がん専門医療人養成の現状と成果(発表+質疑応答で1WG 5分:計70分) 14:55-16:10

① がん薬物療法専門医WG(愛媛大学・岡山大学)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学 助教 河野 吉泰

② 放射線治療医WG(岡山大学・広島大学)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 陽子線治療学講座 准教授 勝井 邦彰

③ 緩和療法医WG(香川大学)

香川大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学 教授 辻 晃仁

休憩(5分)

④ 腫瘍外科医WG(山口大学)

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座 助教 新藤 芳太郎

⑤ がん専門薬剤師WG(徳島大学)

徳島大学大学院医歯薬学研究部 医薬品機能性化学分野 教授 土屋 浩一郎

⑥ がん専門看護師・リカレント教育WG(高知県立大学)

高知県立大学大学院看護学研究科 教授 藤田 佐和

⑦ 医学物理士WG(岡山大学)

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 放射線技術科学 准教授 笈田 将皇

⑧ がん専門栄養士WG(徳島大学)

徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床食管理学分野 教授 竹谷 豊

⑨ ファカルティ・ディベロップメント(FD)WG(川崎医科大学)

川崎医科大学 臨床腫瘍学 教授 山口 佳之

⑩ がん治療生涯教育WG(川崎医科大学)

川崎医科大学 臨床腫瘍学 教授 山口 佳之

⑪ 在宅がん医療WG(高知大学)

高知大学医学部医療学講座(公衆衛生学) 准教授 宮野 伊知郎

⑫ 精神腫瘍WG(岡山大学)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学 教授 山田 了士

⑬ 歯科WG(岡山大学)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔顎顔面外科学 教授 佐々木 朗

⑭ eラーニングWG(山口大学)

関門医療センター 吉野 茂文

V. 外部評価委員による審議(30分) 16:10-16:40

場所: Zoomのブレイクアウトルーム内

VI. 外部評価委員による講評(15分) 16:40-16:55

大江 裕一郎 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 副院長 兼呼吸器内科長

荒尾 晴恵 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 看護実践開発科学講座 教授

滝口 裕一 千葉大学大学院医学研究院 臨床腫瘍学 教授

矢野 育子 神戸大学大学院医学研究科 薬剤学分野 教授

松本 陽子 NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長

中静 敬一郎 岡山放送株式会社 代表取締役社長

VI. 閉会の挨拶(5分) 16:55-17:00

「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成」代表

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学 教授 藤原 俊義

R2年度 中四がんプロ まとめ

- COVID-19の影響で様々な企画の中止、延期、開催形式変更
- 開催中の学術会議 → 中四がんプロ オンラインWG、オンライン会議
- チーム共同発表 → Zoom開催
- 多岐にわたるセッション → 別開演、オンライン開催
- 懇話会/シンポジウム → Zoom開催
- 市民公開講座 → オンライン開催、配信テレビ
- 小中・高連携へのがん教育 → 一部実施も、多くは中止
- 協賛の企業等 → 多数、実施出来ず、オンライン開催
- 従来の形式で開催できたものもあるが、Web会議システムの活用により実施可能なものまで拡大
- オンライン開催に変わったことで遠隔から参加できるメリットも享受
- 次年度の活動に活かせる経験



大学別	2020年度 入学人数	2020年度 在学人数	2020年度 OPI合格人数
高知県立大学大学院	2	2	1
岡山大学大学院	0	0	0
徳島大学大学院	3	4	3
広島大学大学院	1	1	2
山口大学大学院	0	1	0



外部評価委員会にて各WGから今年度の評価項目と来年度の目標について発表が行われました。

ゲノム医療WG

● 評価項目

- ・参加型教育が制限される場合でも等しく学べる環境の整備

● 来年度の目標

- ・がんゲノム医療中核病院の人材育成との共通プログラムの構築
- ・e-learningの充実化

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

希少がんWG

● 評価項目

- ・希少がんWGは、e-learningコンテンツの集積、ならびに夏期研修会を通じて、希少がんの知識習得に努めた。
- ・診療実績を集計し、今後の希少がんWGの方向性・社会啓蒙を議論した。

● 来年度の目標

- ・e-learningコンテンツの集積（特に消化器希少がん、眼・中枢神経腫瘍）。
- ・インテンシブコース、夏期研修会を通じて、希少がんのさらなる知識習得ならびに診療経験の集積に努める。
- ・市民公開講座、インテンシブコース等を通じ、社会への情報発信。
- ・他のがんプロ拠点と「希少がん教育・診療」に関する連携を模索する。

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

小児がん・AYA世代がんWG

● 評価項目

- ・小児・AYA世代がんのe-learningコンテンツの充実
- ・岡山大学病院におけるAYA世代がん患者の実態調査
- ・AYA世代がんフォーラム（市民公開講座）の開催

● 来年度の目標

- ・小児・AYA世代がんのe-learningコンテンツのさらなる充実
- ・AYA世代がんに関する情報発信
- ・AYA世代がんの実態調査をがんプロ参加施設に広げる
- ・小児～若年AYA世代に関する妊孕性温存のパンフレット作製

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

高齢者がんWG

● 評価項目

- ・「高齢者がん」講義の開講、e-learningの収録・更新
- ・各大学でセミナーやシンポジウム等を実施
- ・日本老年医学会四国地方会との協働

● 来年度の目標

- ・各大学でシンポジウム、セミナー、講習会等を実施
- ・履修生による「教育研究成果発表会」開催
- ・高齢者機能評価とがん薬物療法の安全性に関する前向き試験

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん薬物療法専門医WG

● 評価項目

- 本コンソーシアム内において、下記のフォーマットを構築した
- ① 豊富な症例を経験する環境の拡充、院内各科ローテーション制度の構築
 - ② e-learningを用いたがん薬物療法の基本から専門的な内容の教育体制
 - ③ 中四国のがん薬物療法専門医からの症例指導体制（ホームページ添削機能）

● 来年度の目標

- # 1. コロナ感染状況に応じて、コンソーシアム内の関連施設やがん診療連携拠点病院との連携の強化に取り組み、各科ローテーションなど多職種にわたる学習を可能とした制度のさらなる拡充を図る。
⇒ひいては、更なるがん薬物療法専門医試験受験者数の増加につなげる
- # 2. 若い世代にがん診療の重要性や魅力を説き、がん専門職を志す医療者が増加する環境を創造する
・がんプロ学生ががん診療に関わる講義を受講しやすくなることで、専門医資格を取る意欲のある学生の増加につなげる
・社会人在学生やがんプロ大学院卒業生にも専門医取得が可能であることをアピールし、積極的に支援していく

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

放射線治療医WG

● 評価目標達成度

大学院入学	1/4名
広報活動	7/10回
医療従事者向け 市民向け	2/2回

● 来年度の目標

大学院入学	4名
広報活動	10回
医療従事者向け 市民向け	2回

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

緩和療法医WG

● 評価項目

- インテンシブセミナー・研修会の継続的な実施（大学単独、WG共催）
- 医療従事者に対する「患者・家族の視点に立った緩和ケア」の継続的な教育と啓発活動
- 認定医取得への支援

● 来年度の目標

- がん治療の十分な知識・経験を持ち、医療チームとして緩和医療が実践できる人材の養成
- 継続的な教育環境の整備・提供のために教育機関への緩和ケアや腫瘍を専門とする講座の設置の要望
- 大学院生の確保のためにインセンティブ確保（専門医の取得に対して）
- 認定試験開催の要望（WEBを含めて）

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

腫瘍外科医WG

● 評価項目

- 1) 外科系コースに学生を受け入れ、広い地域にムラなくがん専門医療人を送り出す。
- 2) 多様な新ニーズ(ゲノム医療,希少がん,小児・AYA世代がん,高齢者がん)に対応した科目を外科系コースの学生も履修できるようカリキュラムを構築し、各領域の知識を習得したがん専門医療人を輩出する。
- 3) 腫瘍外科手術映像のコンテンツの充実に努め、がんプロ大学院生の術前教育および教員のFDとして利用する。

● 来年度の目標

- 1) 外科系コースに引き続き学生を受け入れ、外科系専門医の取得数の増加を目指す。
- 2) 腫瘍外科手術映像のコンテンツの充実に努める。

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん専門薬剤師WG

● 評価項目

- 現在までがん専門薬剤師養成コースに対応したカリキュラムを整え、本コースへの大学院生の募集・養成を各大学で行ってきた。また、がん専門薬剤師向けの講演会や研修のほか、がん薬物療法に関する公開講座・講習会を開催してきた。

● 来年度の目標

1. 講演会・公開講座
 - ・薬局向けの研修会
 - ・がん診療連携拠点病院の薬剤師との研修会
 - ・がん専門薬剤師養成コースの紹介と、がん専門薬剤師の活動紹介
 - ・新要素を含む講演会の開催
2. 大学院説明会
 - ・コースの説明
3. 大学院生受け入れ
 - ・1～2名/大学
4. 専門薬剤師養成
 - ・研修の受け入れ

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん専門看護師・リカレント教育WG

● 評価項目

- ・APN養成コースの入学数・修了者数・CNS認定者数
- ・インテンシブコースⅡの5大学共通アンケート調査
- ・APNコースⅠ・Ⅱの授業評価およびアンケート調査
- ・インテンシブコースⅠの授業評価およびアンケート調査

● 2021年度の目標

- ・受験生確保とCNS認定試験受験支援の継続
- ・APNコース（リカレント教育）：新たな教育プログラムの開発
- ・インテンシブコースⅠ（リカレント教育）：教育プログラムの洗練化
- ・インテンシブコースⅡ：新たなテーマで各大学が新企画
- ・5大学院がん看護学合同セミナーの継続
- ・新型コロナウイルス感染症を考慮した企画、運営
- ・がんプロⅢ期のまとめと今後の課題抽出

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

医学物理士WG

● 評価項目

- 学生受入、輩出数
 - ・コロナ禍での定員充足率（進学率）向上に向けた活動など
- 教育コースの実質化
 - ・外部認定機関による評価など
- 学生の資格取得率向上（既卒も含む）
 - ・試験難易度が高いため（合格率30%程度）、対策が必要

● 来年度の目標

- 今年度と同水準の定員充足率を図る
- オンラインでの学習環境の拡充
 - ・WG大学間での教育補完（相互交流/地域活性化）
 - ・FDセミナーの開催（大学間、地域間の連携強化）

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん専門栄養士WG

● 評価項目

- 1) がん病態栄養専門管理栄養士の合格者5名
- 2) 地域のがん診療連携拠点病院への就職

● 来年度の目標

- 1) 大学院の定員の充足
- 2) がん病態栄養専門管理栄養士の受験支援
- 3) 延期したがん栄養セミナーの実施（R3年7月31日を予定）
- 4) e-learningコンテンツの更新

中東・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

ファカルティ・ディベロップメント (FD)WG

● 評価項目

2017年度からの4年間で、14名をFD研修に派遣

特に、高齢者ががんに対する教育・診療に注力するため、SIOGにこれまで4名の医師を派遣した

● 来年度の目標

高齢患者のアセスメントツールの開発

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん治療生涯教育WG

● 評価項目

2012年から2020年までの9年間、中国・四国の11大学が連携し、各大学においてそれぞれの特徴を生かした積極的な生涯教育が実施された。がんの診断、手術、放射線、化学、免疫療法、新規治療開発、緩和ケアであり、2020年には特に、がんゲノム医療、小児・AYA世代・高齢者、希少がん重点課題とした。内容は90%を超える参加者から意義あることとして評価された。

● 来年度の目標

引き続き、がんゲノム医療、小児・AYA世代・高齢者医療、希少がんを重点課題とし、がんの診断と治療・ケアを網羅した生涯教育を実施し、地域のがん医療に携わる人材教育や指導者育成、さらにはがん医療の充実に努めていく。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

在宅がん医療WG

● 評価項目

【各大学ごとの取組み】

・医療従事者を対象とした研修会、講演会等の開催
・一般人等を対象とした公開講座や講演会の開催

【WG統一の取組み】

・各大学の取組みや連携体制を可視化し、WG内での共有を行った。
・在宅緩和ケア地域連携パスについて取り組むことが決定した。現状把握として、各大学（各県）で使用している連携パスの項目の比較対照を行った。

● 来年度の目標

【各大学ごとの取組み】

・医療従事者を対象とした研修会、講演会等の開催
・一般人等を対象とした公開講座や講演会の開催

【WG統一の取組み】

・在宅緩和ケア地域連携パスの必要項目の検討を継続して行う。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

精神腫瘍WG

● 評価項目

1. 大学院講義（精神腫瘍学、対話学）
2. コミュニケーション技術研修会の開催
3. 多地点症例検討会の開催

● 来年度の目標

1. オンラインでの大学院講義
2. オンライン研修会の工夫
3. WG委員の意見交換・情報収集

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

歯科WG

● 評価項目

医学部・歯学部・歯学部の大学院ならびに中核病院の歯科口腔外科医にはがん治療認定医（歯科口腔外科）の取得を、がん治療における顎口腔機能の回復・維持にかかわる歯科医師、歯科衛生士などの医療従事者に対しては、がん医療における最新の知識の修得と多職種連携の実践を通じたがん治療における歯科の役割についての意識・技術・知識の充実に評価する。

● 来年度の目標

1. 口腔がんを含むがん医療における従来の外科療法・化学療法・放射線療法に加え、分子標的治療や新たな免疫療法・ゲノム医療に関する教育を歯科医師（口腔外科、歯科放射線科、一般歯科）ならびに歯科医療従事者に行う。
2. 周術期のみならず地域・在宅におけるがん患者の口腔ケアや口腔機能管理に関する教育を、多職種連携を基軸に歯科医師、歯科衛生士、看護師を中心に行う。従来どおり、高齢者ががん患者に対する多職種連携がん支持療法と地域包括ケアへの支援のあり方に重点をおくが、来年度はこれまでのがんプロの成果にスポットを当ててみたい。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

eラーニングWG

● 評価項目

- (1) コンテンツの充実やアクセスの促進を図ることで、eラーニングシステムを11大学で拡充・発展させてきた。
- (2) 新4科目のコンテンツを充実させることが出来た。
- (3) セミナーや講演会のコンテンツの一部を一般公開し、がん治療に関する情報を社会へ発信した。

● 来年度の目標

- (1) コンテンツを更新し、コンテンツの質を保つ。
- (2) コンテンツの充実に努め、とくに新4科目のコンテンツのさらなる充実に力を入れる。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

第12回チーム医療合同演習

テーマ：「希少がんのゲノム医療と緩和医療」

日時：令和2年8月22日(土) 8:30~12:40

会場：Zoomを使ったWeb開催

参加者：69名（学生49名、教員18名、オブザーバー2名）

連携大学より学生・教員が参加し、「希少がんのゲノム医療と緩和医療」をテーマに第12回チーム医療合同演習を行いました。

講義Ⅰでは、岡山大学病院ゲノム医療総合推進センターの遠西大輔先生に、「がんゲノム医療の現状と課題」と題して講演を行っていただきました。

講義Ⅱでは、愛媛大学医学部附属病院周産母子センターの松元隆先生から、「婦人科腫瘍」についてご講演いただきました。

その後、多職種が混在した9グループに分かれて婦人科腫瘍の1症例を討議し、グループ毎に討議内容の発表を行いました。

初めてのオンライン開催となりましたが、非常にスムーズで特に大きな問題もなく実施することができ、参加者からはディスカッションを通して多職種連携の重要性、希少がん医療についてとても勉強になった、などの感想が聞かれました。

学生・教員参加者内訳：

	医師	看護師	診療 放射線技師	薬剤師	管理栄養士	獣医師	教員	合計
愛媛大学	3						5	8
岡山大学	19		2			1	7	29
香川大学	5							5
川崎医科大学	1							1
高知大学	4							4
高知県立大学		3					2	5
徳島大学	3				2			5
徳島文理大学							1	1
松山大学				2			1	3
山口大学	4						2	6
合計	39	3	2	2	2	1	18	67

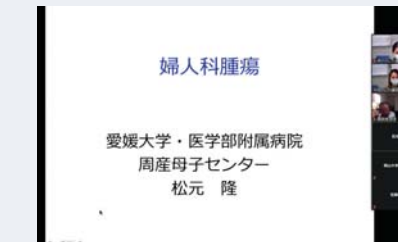
プログラム

開始	終了	時間(分)	内 容	
08:30	09:00	30	入室開始	出欠確認
09:00	09:05	5	開会挨拶	中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム代表 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学 藤原 俊義 先生
09:05	09:45	40	第一部(講義Ⅰ)	「がんゲノム医療の現状と課題」 岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター 血液・腫瘍内科 遠西 大輔 先生
09:45	09:50	5	質疑応答	
09:50	10:30	40	第一部(講義Ⅱ)	「婦人科腫瘍」 愛媛大学医学部附属病院 周産母子センター 松元 隆 先生
10:30	10:35	5	質疑応答	
10:35	10:45	10	休憩	
10:45	11:00	15	婦人科症例ならびに 本例ゲノム検査の提示	愛媛大学大学院医学系研究科 基盤・実践看護学 寺尾 奈歩子 先生 愛媛大学医学部附属病院 腫瘍センター 長谷部 晋士 先生 愛媛大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 藤井 知美 先生
11:00	11:10	10	症例に関する質疑応答と グループワークの討議内容の 提示	本セッションの説明
11:10	11:50	40	第二部 (ワークショップ)	自己紹介後各グループごとに討議
11:45	11:50	5	終了アナウンス(チャット)	
11:50	12:10	20	グループごとの発表	各グループごとに討議内容を発表
12:10	12:20	10	解説	セッションの解説・まとめ
12:20	12:30	10	総評	本合同演習の総評 NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 松本 陽子 氏 全国がんプロ協議会/大阪国際がんセンター 松浦 成昭 先生
12:30	12:35	5	総括と閉会挨拶	中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム代表 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学 藤原 俊義 先生
12:35	12:40	5	写真撮影	集合写真撮影

講義Ⅰ



講義Ⅱ



オンライン参加の様子



症例についての討議



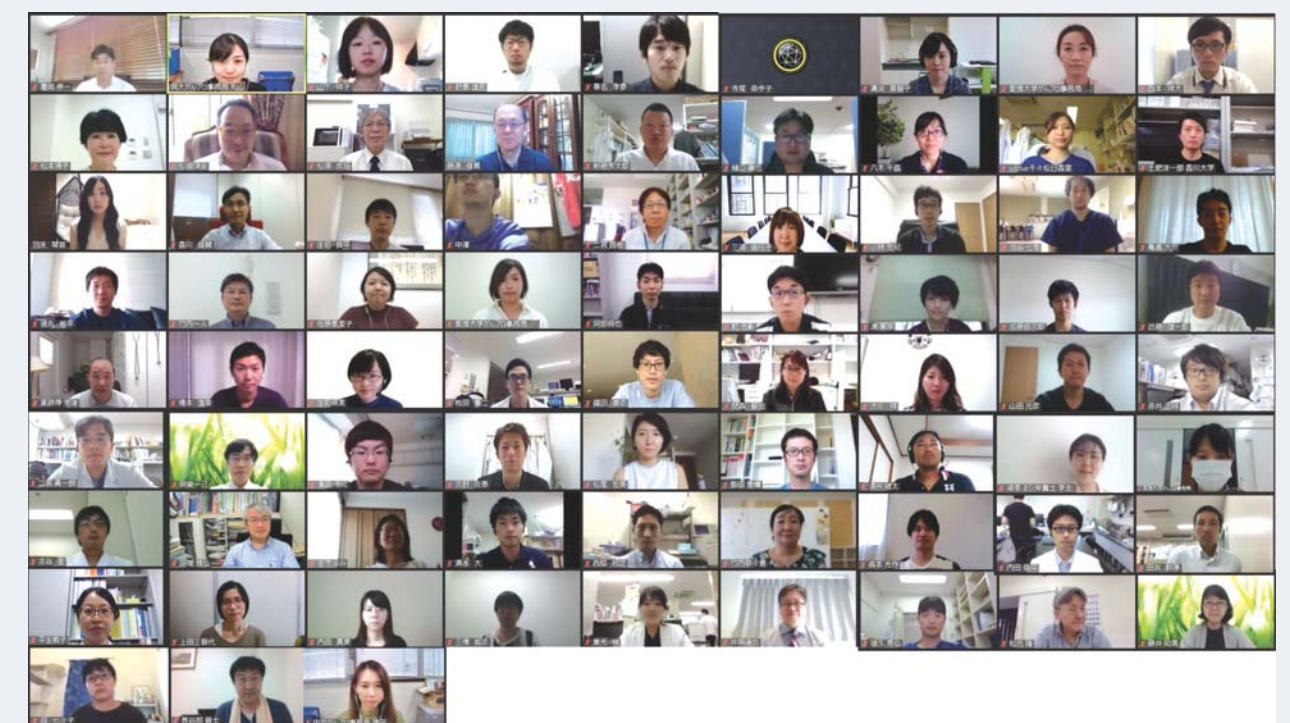
症例についての討議



総評



集合写真



研修報告

研修期間:2020年8月24日～8月26日
研修先:四国がんセンター

香川大学 病院助教 福岡 奈津子

1日目(8月24日) 8:30～ 8:50 リハビリカンファレンス
9:00～12:00 整形外科、骨転移診療外来
13:00～15:00 緩和ケア病棟、院内見学
15:00～16:00 放射線治療見学
18:00～19:00 プレエキスパートパネル

2日目(8月25日) 8:30～ 8:50 リハビリカンファレンス
9:00～14:00 整形外科手術
15:00～16:00 IVHポート留置(透視室)
16:00～17:00 エキスパートパネル
17:30～18:00 整形外科病棟回診

3日目(8月26日) 8:30～ 8:40 リハビリカンファレンス
8:40～ 8:50 抄読会
9:00～12:00 整形外科、リハビリテーション外来
13:00～14:30 がんゲノム外来

まとめ 何を学んだか

四国がんセンターにおける整形外科では患者の多くが転移性骨腫瘍による診療を受けており、骨転移診療の実際について学んだ。他科との垣根の低さやリハビリテーション部との連携がしっかりしているところが印象的であった。

緩和ケアの分野では病棟担当医とチーム担当医が役割分担を行い、患者管理や家族ケアが充実していると同時に、患者やその家族がリラックスして過ごせるような設備の充実がなされていると感じた。

エキスパートパネルでは各科の担当医が広い知識をもっており、他院とのオンライン会議を行い、地域のがんゲノム医療を牽引している役割を担っていると感じた。

今後、何を教育・臨床にフィードバックしたいか

がん患者は増加傾向になり、整形外科診療において骨転移診療は今後重要な位置づけを担ってくると考えられる。原発診療科に任せきりにすることなく、整形外科医がしっかりと役割分担を果たすことで骨転移診療の多職種チーム医療を円滑にすすめていけるということをセミナーや講義などで教育していきたい。

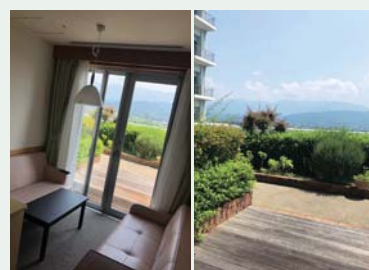
そのための方策

当院での骨転移外来の充実と緩和ケアチームおよびリハビリテーション部との連携を行う。令和2年度末までに骨転移診療をテーマとしたセミナーや講義の開催を行う。

この研修全体についてのコメント

がんセンターという特色ある施設で研修できたことによって、当院や県内の関連病院とは全く違った診療のスタイル、整形外科の役割を体験することができました。研修を通して関わっていただいた先生方や関係スタッフの方が皆さん親切に対応いただき非常に感謝しています。

がん診療に携わる医療者が診療科の垣根を越えて連携している姿勢が印象的で、がん診療における骨転移診療の重要性、整形外科医の役割をしっかりと認識して今後の診療に活かしていこうと感じました。



緩和ケア病棟 テラスにも出られる
緩和ケア病棟 テラス



緩和ケア病棟 家族室



緩和ケア病棟 デイルームには患者や家族が利用できるキッチンあり

活動報告

山口 第1回 がん治療スキルアップセミナー

テーマ:コミュニケーションスキル

日時:令和2年8月25日(火) 17:30～18:30

場所:Zoom

参加者:31名

「非がん患者(心不全など)の緩和ケア-精神科的特徴と対応をがん患者の場合と比べながら-」

山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座 准教授 松原 敏郎 先生

広島 第38回 日本脳腫瘍学会学術集会 市民公開講座

テーマ:次世代脳神経外科医が解説する!薬物療法や放射線療法を必要とする脳腫瘍

日時:令和2年8月29日(土) 14:00～16:20

場所:広島県医師会館 1F HALL

参加者:12名

「膠芽腫」 大阪大学医学部附属病院 脳神経外科 木下 学 先生

「脳の悪性リンパ腫」 浜松医科大学 脳神経外科 黒住 和彦 先生

「転移性脳腫瘍」 香川大学医学部附属病院 脳神経外科 三宅 啓介 先生

「脳の胚細胞腫瘍」 広島大学病院 脳神経外科 山崎 文之 先生

「髄芽腫」 京都大学医学部附属病院 脳神経外科 荒川 芳輝 先生

岡山 第1回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和2年9月5日(土) 13:00～18:00

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:12名

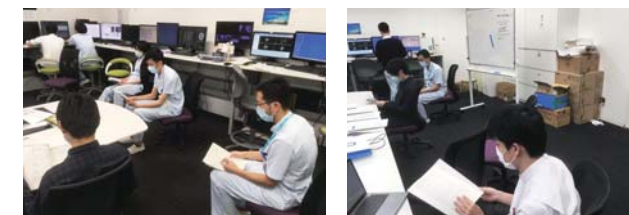
講師:東京女子医科大学大学院医学研究科医学物理学分野 西尾 禎治 先生

「放射線計測学1」

「放射線計測学2」

「放射線治療線量計算1」

「放射線治療線量計算2」



愛媛 リビング・ウィル インターネット市民公開講座 (第1回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会)

日時:令和2年9月12日(土) 14:00～16:00

場所:愛媛県医師会館3階(理事室)

参加者:36名

「最期まで自分らしく生きる～あなたはどうか逝きたいか?見送りたいか?～」

日本尊厳死協会副理事長 長尾 和宏 氏



香川 第24回 緩和医療に関する集中セミナーin香川

日時:令和2年9月12日(土) 9:00~13:00

場所:高松国際ホテル 讃岐の間(本館2階)

参加者:82名

「呼吸困難に対する治療 up to date」

川崎医科大学総合医療センター 内科 副部長 小原 弘之

「骨転移マネジメント」

香川大学医学部附属病院 整形外科、リハビリテーション部 病院助教 福岡 奈津子

「当院乳腺外科外来におけるACPへの取り組み」

香川大学医学部附属病院 看護部 乳がん看護認定看護師 山下 加奈子

「当院の緩和ケア病棟でのせん妄と痛みの治療について」

香川県立中央病院 緩和ケア内科 部長 原 一平



広島 がん高度実践看護師WG講演会 in Hiroshima

テーマ:高齢がん患者の生活を支えるがんリハビリテーション

日時:令和2年9月13日(日) 14:00~16:00

場所:Zoomウェビナーによるオンライン講演会

参加者:79名

「高齢がん患者のリハビリテーションの実際と最新トピックス」

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 准教授 辻 哲也 先生

「高齢がん患者の術後リハビリテーションにおける高度ながん看護実践:リンパ浮腫の予防とマネジメント」

広島大学病院 がん看護専門看護師 山口 真由美 先生

広島 第14回 広島がん薬物療法セミナー(基礎コース)

日時:令和2年10月10日(土) 14:00~17:30

場所:TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前 3F・4F

参加者:87名

特別講演:「当院緩和ケア病棟開設10カ月間のオピオイド使用状況」

広島赤十字・原爆病院 緩和ケア科部長 藤本 真弓 先生

一般講演:「緩和薬物療法における薬剤師のコミュニケーションスキル」

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院

薬剤部 薬剤副部長 田中 和行 先生

松山 松山大学大学院医療薬学研究科 がんプロ第6回 公開講座

テーマ:愛媛の薬学、これから がん医療における薬剤師力

日時:令和2年10月11日(日) 14:30~17:50

場所:Zoomを使ったWeb開催

参加者:92名

講演1:「診療支援としてのがん専門薬剤師の守備範囲~がん治療で知っておきたいポイント~」

住友別子病院薬剤部 がん指導薬剤師 矢野 琢也 先生

講演2:「がん医療におけるチーム医療での薬剤師の役割」

松山赤十字病院薬剤部 がん指導薬剤師 村上 通康 先生

岡山 第2回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和2年10月13日(火) 18:30~20:00

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:10名

「放射線治療品質管理基礎技術1(物性)」

「放射線治療品質管理基礎技術2(原子核物理)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

山口 がん看護インテンシブコースII がん高度実践看護師WG講演会 in Yamaguchi

テーマ:AYA世代の人々とがん看護 がん患者のライフステージの様々な新ニーズに応える高度な看護実践の展開

日時:令和2年10月13日(火) 17:00~18:30

場所:山口大学医学部霧仁会館 3階 多目的室

参加者:22名

「小児・AYA世代がん患者への看護支援」

神戸女子大学看護学部看護学科助教/小児看護専門看護師 山本 千晴 先生



広島 広島大学病院 在宅緩和ケア事業研修会

日時:令和2年10月17日(土) 15:00~16:30

場所:広島大学病院 臨床管理棟3階 3F1会議室

参加者:21名

「がん救急における緊急緩和照射」

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院

放射線治療科 主任部長 松浦 寛司 先生

徳島 徳島大学大学院市民公開講座

テーマ:がん治療の最前線

日時:令和2年10月17日(土) 14:00~16:00

参加者:講演会は後日ケーブルテレビ徳島で放送され、徳島新聞にも掲載された

講演1:「肺がん薬物療法の進歩」

徳島大学大学院医歯薬学研究部 呼吸器・膠原病内科学分野 准教授 軒原 浩 氏

講演2:「胃がんに対する薬物療法Up to date」

徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域消化器・総合内科学 特任教授 佐藤 康史 氏

講演3:「乳がん治療と遺伝性乳がん卵巣がん症候群」

徳島大学病院 食道・乳腺甲状腺外科 助教 井上 寛章 氏

講演4:「胃がんに対するロボット手術」

徳島大学病院 消化器・移植外科 講師 吉川 幸造 氏

講演5:「がんゲノム医療及びがん遺伝子パネル検査の進歩について」

徳島大学大学院医歯薬学研究部 消化器内科学分野 助教 藤野 泰輝 氏

岡山 第3回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和2年10月27日(火) 18:30~20:00

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:10名

「放射線治療品質管理基礎技術3(X線の生成)」

「放射線治療品質管理基礎技術4(臨床放射線発生装置)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

山口 第6回 山口大学がんプロCNS事例検討会

日時:令和2年10月27日(火) 13:30~15:00

場所:山口大学医学部医修館1階 多目的室

参加者:7名

がん看護専門看護師の認定審査合格のための問題の解き方と、参加者の回答への助言や模範解答について解説が行われた。

講師:がん看護専門看護師 岩月 まり子 先生



高知 緩和ケアweb講演会

日時:令和2年11月2日(月) 18:30~19:30

場所:高知大学医学部 実習棟3階 第2講義室《オンライン開催》

参加者:60名

「がん緩和ケアとしてのリハビリテーション・アプローチ」

千葉県立保健医療大学 健康科学部 リハビリテーション学科 准教授 安部 能成 先生

高知 「臨床に役立つ統計学」web講演会

日時:令和2年11月10日(火) 18:30~19:30

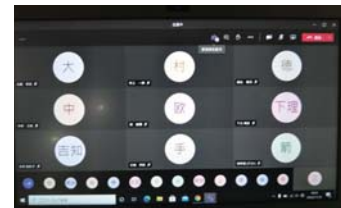
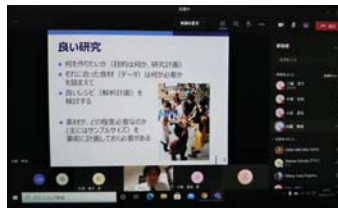
場所:高知大学医学部 実習棟3階 第1講義室《オンライン開催》

参加者:99名

「臨床に役立てるための統計学の基礎」

東京大学大学院 情報学環/東京大学大学院医学系研究科

生物統計学分野(兼) 准教授 大庭 幸治 先生



岡山 第4回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和2年11月14日(土) 13:00~14:30

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:15名

「多様化する放射線治療の現状と将来展望—粒子線治療・BNCTを中心に—」

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 加藤 貴弘 先生



岡山 第5回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和2年11月17日(火) 18:30~20:00

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:10名

「放射線治療品質管理基礎技術5(電離放射線の相互作用)」

「放射線治療品質管理基礎技術6(電離放射線の計測)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

広島 広島大学病院 緩和ケアフォローアップ研修

日時:令和2年11月29日(日) 9:00~13:30

場所:広島大学病院 臨床管理棟3階 3F1・3F2会議室

参加者:28名

■オリエンテーション・挨拶

■講義:アドバンス・ケア・プランニング

■グループワーク:苦痛緩和のための鎮静

■グループワーク:死が近づいたとき

■ふりかえり・まとめ

講師・ファシリテーター

鳥取市立病院 地域医療総合支援センター長 足立 誠司

広島市立安佐市民病院 精神科 主任部長 小早川 誠

社会医療法人仁寿会 加藤病院 診療統括部 副部長 上杉 文彦

広島大学病院 精神科 診療講師 倉田 明子

県立広島病院 薬剤科 薬剤師 笠原 庸子

広島大学病院 看護部 看護師 横埜 良江

岡山 第6回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日時:令和2年12月1日(火) 18:30~20:00

場所:Zoomによるオンライン授業

参加者:9名

「放射線治療品質管理基礎技術7(X線の線質)」

「放射線治療品質管理基礎技術8A(吸収線量の計測)」

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

高知県立 がん看護インテンシブコースⅡ がん高度実践看護師WG講演会 in Kochi

テーマ:がん患者のライフステージの様々なニーズに応える高度な看護実践の展開 遺伝性腫瘍と生きる患者へのがん看護
日 時:令和2年12月5日(土) 13:00~16:40
場 所:Web (Zoom) 開催
参加者:79名
「がんゲノム時代の遺伝性乳癌卵巣癌診療」
高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 乳腺・甲状腺外科 科長 高島 大典 氏
「がんゲノム医療時代に必要な、がん看護・遺伝看護の視点と実際の関わり」
聖路加国際病院 遺伝診療部 遺伝看護専門看護師 大川 恵 氏



岡山 第12回 歯科・口腔外科インテンシブコース

日 時:令和2年12月13日(日) 9:50~13:00
場 所:Zoom上でのオンライン開催
参加者:151名
メインテーマ「AYA世代のがん治療における歯科の役割はどうあるべきか?」
教育講演1
「小児・AYA世代のがん治療の現況」
岡山大学病院 小児血液・腫瘍科 准教授 嶋田 明 先生
「小児がん治療における歯科の役割と課題」
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 小児歯科学分野 教授 仲野 道代 先生
メインテーマ「がんの終末期における歯科の役割はどうあるべきか?」
教育講演2
「口腔から支えるがん終末期」
浜松市リハビリテーション病院歯科 部長 大野 友久 先生



岡山 第7回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:令和2年12月15日(火) 18:30~20:00
場 所:Zoomによるオンライン授業
参加者:9名
「放射線治療品質管理基礎技術8B(吸収線量の計測)」
「放射線治療品質管理基礎技術9(線量分布と散乱解析)」
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

徳島 がん看護インテンシブコースⅡ がん高度実践看護師WG講演会 in Tokushima

テーマ:がん患者のライフステージの様々なニーズに応える高度な看護実践の展開
がん治療と妊孕性温存の課題とがん患者に対する高度な看護実践
日 時:令和2年12月19日(土) 13:00~15:30
場 所:WEB開催
参加者:40名
「がん治療と妊孕性温存に関する現状と課題」
徳島大学大学院医歯薬学研究部産婦人科学分野 教授 岩佐 武 先生
「AYA世代男性がん患者の妊孕性温存に関する看護支援~男性がん看護専門看護師の立場から~」
岡山大学病院腫瘍センター がん看護専門看護師 太田 佳男 先生

岡山 第8回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:令和3年1月5日(火) 18:30~20:00
場 所:Zoomによるオンライン授業
参加者:9名
「放射線治療品質管理基礎技術10(線量計算システム)」
「放射線治療品質管理基礎技術11(治療計画1:等線量曲線)」
岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 笈田 将皇

徳島 がんゲノム医療セミナー

日 時:令和3年1月13日(水) 18:00~19:00
場 所:徳島大学病院 5階 日垂ホール white Zoom同時配信
参加者:20名
「抗癌剤感受性を予測する機能的なプロファイリング(BH3プロファイリング)について」
北海道医療大学 予防医療科学センター 准教授 河野 豊 先生

岡山 第9回 岡山大学医学物理コース(インテンシブ)地域連携セミナー

日 時:令和3年1月19日(火) 18:30~20:00
場 所:Zoomによるオンライン授業
参加者:11名
「BNCT(硼素中性子捕捉療法)の物理工学的基礎」 京都大学複合原子力科学研究所 櫻井 良憲 先生



広島 広島大学病院 がん医療従事者研修会

日 時:令和3年1月22日(金) 18:30~20:00
場 所:広島大学病院 臨床管理棟3階 大会議室 および Zoom
参加者:39名

講演1「消化器がん診療におけるリキッドバイオプシーの有用性」
国立がん研究センター東病院 トランスレーショナルリサーチ支援室/消化管内科 中村 能章 先生

講演2「医師に求められる主治医力、患者に求められる患者力、そして両者をつなぐ医療学」
福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー准教授 白河厚生総合病院 総合診療科部長 東 光久 先生